

東鎌尾根・西岳往復

2008年11月1～3日

メンバーL 菊地、白土、後藤、野澤

11月1日（小雨後晴れ）

当初、北鎌尾根に入る予定だったが、今年は早い時期から降雪があり2泊3日で北鎌尾根を抜けるのはとても無理そうなので、急遽東鎌尾根に変更する事となった。

ちらほら紅葉の始まった中房温泉を歩き出す。山を見上げると薄っすら木々が白く化粧している。昨日から降り続いた雨は、上の方では雪だった様だ。歩き出してたちまち登山道にも雪が現れたが、燕山荘を目指す人は多く、スニーカー履きの人の姿もありスタイルは様々だ。合戦小屋に着く頃にはすっかり雪に覆われ完全に冬の山に変わっていた。小屋

の人も冬を越す準備で忙しそうだ。

更に1時間程で2700mの燕山荘に到着。低い所は雲がかかるが、2500m以上の稜線は青空が広がる。

雪はまだ新しくここ数日で一気に積もった様だ。稜線の風当たりが強くと雪は余り付かないが、時折吹き溜まりになると膝上まで潜る。とても11月初旬の山とは思えないが、燕山荘からは他パーティも居らず、晴天にも恵まれパノラマを独占状態。小さなアップダウンを繰り返して、遠くに見えていた大天井岳もようやく手が届く距離となる。最後のひと登りで山頂直下に建てられた大天荘に到着。既に営業を終了しているので我々以外に人の姿はなく、中々展望の素晴らしい所で何時まで眺めていても飽きないが風は強い。夜外に出ると涸沢と北穂山荘に明かりが灯っていた。

11月2日（晴れ後曇り）

薄暗い中、東鎌尾根に向け出発。長い斜めトラバースで大天井ヒュッテに出る。夏道は延々と稜線を巻く様に付けられているが、道の無い稜線を歩ける程の積雪もないので夏道を行く。時々現れる吹き溜ま



りラッセルが退屈しのぎに丁度良い。道はトラバース主体なのであっけなく西岳ヒュッテに着いてしまう。ここからは槍が近そうに見えるが槍を往復するには更に1日必要だろう。水俣乗越まで行っても中途半端なので、ここから引き返す。帰り道はトレースもついて快適だが、最後は大天井岳までの登山返しがあるが、荷物が軽かったのさほど大変ではなかった。

まだ日が高いので存分に展望を楽しむ。まだポカポカで沢登りを楽しむ人も居るこの季節場所によっては冬山を楽しめ、なんとも不思議な気分になってくる。眼下の涸沢はかなり雪がありそうだ。オジサン2人は真昼間から宴会モード突入(^_^;)

11月3日(曇り)

朝から雲が立ち込め、確実に天気は悪くなってきている様だ。相変わらず稜線は我々のみの貸切状態で静かだったが、燕山荘まで来ると大勢の人で賑やかだ。

燕山荘からはずっと雪がカリカリで足元が滑りやすいが、ビールが恋しいオジサン2人は登りの時とは別



人の様に打って変わって、俄然元気に雪をものともせず駆け下る。おかげで10時半には中房温泉に降り立ち、情緒ある素朴な温泉にゆっくり浸かる事が出来た。

地形図：穂高、槍ヶ岳、有明

11月1日

中房温泉7:00～合戦小屋9:40・10:00～燕山荘11:05・11:40～大天荘16:15

11月2日

大天荘5:30～大天井ヒュッテ6:00・6:10～西岳9:00・9:35～大天井ヒュッテ11:40・12:05～大天荘12:45

11月3日

大天荘5:30～燕山荘8:10・8:25～合戦小屋8:55～中房温泉10:30